



としよ 図書だより

やす
なつ休み とくべつごう



なつ休みですね。読書感想文というしゅくだいもありますね。なにを、どうやって書いたらいいのかな？とこまっている人はいませんか？書く中みに、きまりはありません。思ったことをそのまま書けばいいです！だけど、どうやって書いていいかわからないと思ったら、このおたよりを見本にしてみてください。

- 1 文字は、たて書きにします。
れんらくちょうや、国語の教科書と同じむきです。
- 2 だい名と自分の名前をかこう。
わくの外に『だい名』と『う多づ北小学校〇年 自分の名前』を書きます。



ここからが本文です。

- 3 さいしよに、なぜその本を読んだのか、理ゆうを書こう。

『お友だちが読んでいておもしろそうだったので、読みました。』
『表紙の絵が楽しそうだったので、読むことにしました。』 など。

- 4 つぎに、あらすじを、かんたんに書きます。

『この本は、〇〇という人が出てきて、こんなことをするお話です。』
など、まだ読んでいない人に、本をしょうかいする気持ちで書いてみよう。

- 5 さいごに、一番いんしょうにのこったところ、その理ゆうを書きます。
その本を読んで、新しく知ったことなどを書くのもいいと思います。

『一番いんしょうにのこったのは、〇〇です。なぜなら、～だからです。
つぎからは、わたしも〇〇しようと思いました。』
など思ったことを書いてみましょう！



としよ 今年のかだい図書



あざらしのアニユー (童心社)



うみに うかぶ こおりの上で、アザラシのあかちゃん
が うまれました。やせいどうぶつの 子どもが けん
めいに せいちょうする すがたを えがいた、大ぼう
けんの ものがたり！

ごめんね、でてこい (文研出版)



大すきなおばあちゃんに、「きらい」っていっちゃった。あ
やまりたいのに、でてこない。わたしの中の「ごめんね」
でてこい。「ごめんね」という ことばの おもみや 大せ
つさを かんがえさせてくれる 1さつです。

おちびさんじゃ ないよ (イマジネーション プラス)



てんちゃんは 小さな女の子。でも見た目ではんだん
しないで、っておもっています。ある日、てん校生の小
さな男の子 マルくんに いじめっ子が ちかづきま
す。てんちゃんは たすけよう とゆう気を出します。

どうやって できるの？ チョコレート (ひさかたチャイルド)



ふだん口にしている、チョコレート。どうやってつくられ
るの？カカオの みの 大きさは？カカオは どのよう
に日本にくるの？みぢかなたべものが できるまでのふ
しぎと、かかわる人たちの はたらきかたをしよう！